

令和4年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立第三中学校）

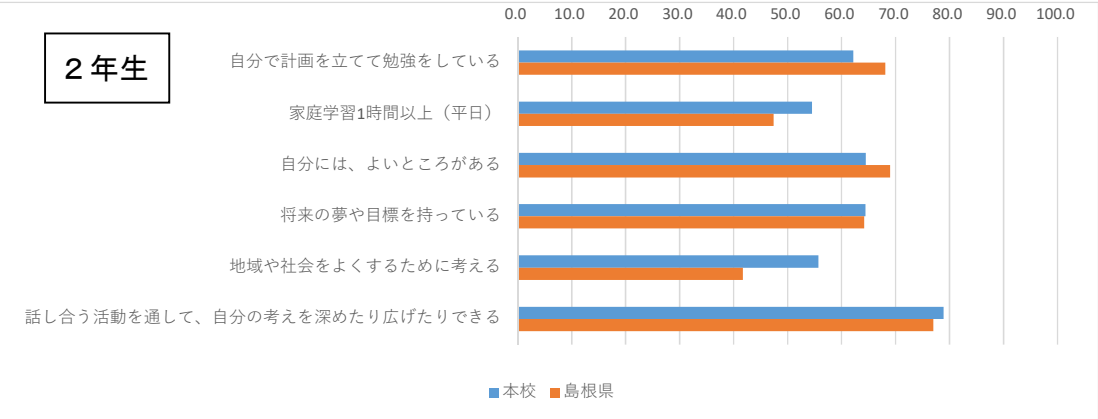
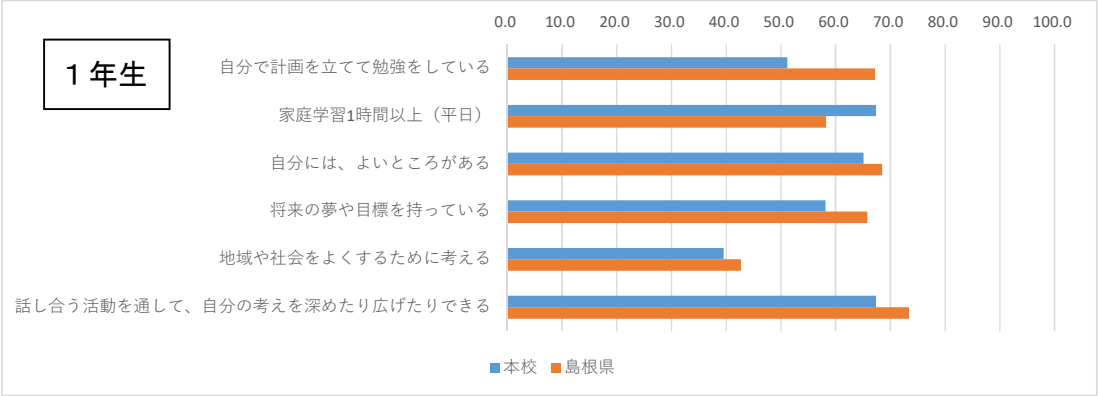
(1)学力調査結果から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年 国 語	○多くの領域で目標値を達成している。特に漢字の読み、言語事項、知識・技能の観点の正答率が高い。 ●文章を書く領域の正答率が低い。文章を書くことに抵抗感がある生徒が多いことが課題である。	2 年 国 語	○ほとんどの項目で目標値や県の平均正答率よりも高く、特に、漢字の読み、文法・語句、説明的な文章の読解の正答率が高い。 ●書く力が特に低い。主体的に学習に取り組む態度(わからないことを質問、話し合いでの発言)に課題が見られる。
1 年 数 学	○正の数・負の数の計算の基本問題は概ね理解の程度がよい。 ●比例・反比例関係を式やグラフに表すことや、問題解決の過程を記述して説明することを苦手としている生徒が多い。	2 年 数 学	○図形の性質は県や全国の平均正答率よりも高く、概ね理解できている。 ●証明など思考・判断・表現の問題で正答率が低く、基礎を活用することを苦手としている生徒が多い。
1 年 英 語	○語法・語彙の知識・理解などの基本問題は概ね良好である。 ●さまざまな英文の読み取りや、感想を述べたりする問題を苦手としている生徒が多い。場面・状況に応じて書く英作文に課題が残っている。	2 年 英 語	○リスニング、語形・語法・語彙の知識・理解の正答率は、概ね良好である。 ●読むこと書くことの正答率は目標値を下回っており、特に、場面に応じて書く英作文、3文以上の英作文が課題である。

(2)生活意識調査から見られた成果と課題(○:成果 ●:課題)

1 年	○夕食を家族で食べるなどの割合は高く、食事習慣は確立されている。家から外出する際の挨拶などの約束を守る事はできており、家族とのコミュニケーションはとれていると考えられる。 ●平日の家庭学習の時間は県平均より高い。しかし、自分で計画を立てて勉強することや自ら進んで勉強する割合は県平均よりも低いので、今後、自主学習を充実させ、計画的・自主的に学習をする力を付けていくことが必要である。	2 年	○授業で興味・関心を持った内容について家庭学習を行っている生徒の割合は、県平均より高く平日の家庭学習の時間も県平均より高い。授業で学んだことを復習したり、疑問に思ったことを調べたりするなど、理解を深めようと努めていると思われる。 ●県平均よりICT機器の利用率は低い。今後、授業展開で学習内容の理解を深めるためにタブレット等を効果的に活用していく必要がある。
--------	--	--------	--

(3)意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 1年生 86名 2年生 90名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。